

10月18日は「統計の日」です！

「統計の日」とは？

「統計の日」は、皆さまに統計の重要性に対する関心と理解を深めていただくとともに、統計調査に対しより一層の協力をいただくため、昭和48年に定められました。

この10月18日は、我が国最初の近代的生産統計である「**府県物産表**」に関する太政官布告が公布された日(太陰暦で明治3年9月24日)を太陽暦に換算した日です。

「府県物産表」

明治政府が各府県に対して、それぞれの区域内の農林水産物と鉱工業生産物のすべての生産高を報告するよう求めて作成した統計であり、我が国最初の近代的生産統計とされています。

**統計調査によりいっそうのご協力を
よろしくお願いします！**



平成19年度「統計の日」ポスター標語

「統計の日」ポスターに使用する標語は、各府省、都道府県及び市区町村の統計関係職員並びに全国の統計調査員の方々から募集したものです。今年度は全国で3,413点の応募があり、去る6月20日に入選作品が決定しました。

平成19年度入選作品

特選

「統計で わかるわが町 わが社会」

佳作

「あなたの書いた調査票 明日の日本の礎に！」

「あなたのデータ 活かして築く 明日の日本」

「今を見て 明日を描く統計調査」

「託します。明日のために 私のデータ。」

「見つめよう 暮らしの中の 統計データ」